

令和5年度 学校評価報告書

丹波篠山市立八上小学校

校長 小田 環

1 学校教育目標等

やさしい心をもち 自ら学び みなぎる元気な 児童の育成

2 今年度の重点目標

(1) 児童が主体的に学ぶ授業づくりを進め、自己学習力をつける。 (2) 児童が持っている良さや可能性を引き出し、望ましい生活習慣の定着を図る。 (3) 「生きる力」の核となる豊かな人間性を育てるため、人権教育・道徳教育・特別支援教育を推進する。 (4) 保護者・地域との連携を深め、ふるさと「八上」に根ざした「地域とともにある学校づくり」を探究する。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
重点目標 ふるさと教育	地域の人材や教材を活用し、教科横断的・探究的に「ふるさとキャリア教育」に取り組んでいる。	B	総合的な学習を中心に、地域の方、教材を活かして、子どもたちの意見をもとに計画を立てて取り組むことができた。
学習指導	子どもたちが学び合いや対話活動を通して主体的に学ぶ力の育成に取り組んでいる。	A	2学期から、毎週木曜日に全校学び合いを取り入れ、同学年だけでなく、異学年での対話活動にも取り組むことができた。
	デジタル教科書(算数)やデジタルドリルを活用し、タブレットを活用した学習に取り組んでいる。	A	算数や国語など教科学習においてデジタル教科書やドリルの活用を行えている。また、委員会活動など教科外活動でも、Formsでの意見集約を行うなどデジタル化が進んだ。
生活指導	子どもたちが進んであいさつができるように指導している。	B	1学期に取り組んだP B S活動をさらに推進していく。朝よりも帰りの挨拶ができているので早寝早起きの啓発も行っていく。
	ケース会議などを通して組織的にいじめの未然防止・早期発見・早期対応を全職員で行っている。	A	幼小合同ケース会議の実施、問題への迅速な対応など、極めて効果的であった。さらなる推進、未然防止対応として、保護者・関係機関との連携を図っていきたい。

安全管理	学習や訓練を実施し防犯意識を高めている。校舎や教室の環境整備に取り組んでいる。(ヒヤリハット・安全点検・各種訓練)	B	ヒヤリハットの実施、安全点検、訓練など計画的に行えている。訓練したことを日々の生活に生かせるよう、繰り返し指導を徹底していく。
------	---	---	---

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

150周年行事を通して、地域と保護者、学校が連携して、教育活動を進めることができた。高城山など地域教材を活用したふるさと教育、地域人材を活用した書初め教室など、体験を通した子どもたちの心に残る教育をしている。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・学校評価から、あいさつに課題があることがわかった。あいさつができる児童を育てていくために、家庭と連携することが必要である。地域での挨拶状況をアンケートで実態把握をすることも必要ではないか。
- ・登校している児童の様子を見ていると、朝、子どもたちが疲れている様子がうかがえる。幼稚園同様に、早寝早起き朝ご飯の大切さを児童、保護者へ伝えていくことが大切である。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・読書離れが課題である。本を借りる環境を充実させたり、新聞の活用を図ったりするなど、児童が読書に親しめる活動を進める。また、家庭への啓発を行いたい。 ・異学年交流を通して、児童一人一人が目標を持って学習・生活していることがよい。学習のデジタル化も進んでいる。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省を生かして、情報機器使用状況アンケートをとり、スマホの長時間使用と思われる影響を調べた。現在の状況から、スマホやタブレットを使わないことはできない。よい使い方をできるように指導していくことが大切である。 ・学校の決まりを見直したり、スマホやタブレットのマイナス面を伝えていったりしていきたい。専門家の意見を聞く場を持つことも大切である。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震を受け、地域で防災体制の確認をしている。学校においても、防災教育を推進し、家庭での防災体制の話し合い等、それぞれの場において、できることを強力に進めてほしい。 ・今後も、PTAや学校運営協議会等、外部の視点を取り入れた防災安全点検を進めていき、安全安心の学校づくりを進めていきたい。